

ワーク中心

プログラム番号 2802A

始めよう！アクティブラーニング型授業 －教え合いの技法編－

■講師

佐藤 慶太（香川大学 大学教育基盤センター 准教授）

平成 11 年 3 月高知大学人文学部人文学科卒、平成 21 年京都大学にて博士（文学）の学位取得。平成 25 年度より香川大学大学教育開発センター（現・大学教育基盤センター）准教授。

■プログラム概要

現在、大学では「アクティブラーニング」が一つのキーワードとなっており、このキーワードのもとで、授業をどう変えていくべきかが、大学、そして個々の教員の課題となっています。とはいえ、まず取り扱う内容に合わせて適切なワークを課すことも考えておかなければなりません。なるべくいろいろなワークの選択肢を持っておくと、授業デザインがスムーズにすすめられます。

この講座では、アクティブラーニング型学習のなかでも特に、学生同士の教え合いが成立するグループワークの技法を紹介します。まず受講生の皆さんには「ジグソー学習」の技法を中心に、3つの教え合いの技法について、体験を通じて学びを深めていただきます。その後、「ラーニングセル（学生がペアになり、テスト作成、回答するワーク）」、「フィッシュボウル（代表者にディスカッションをしてもらい、それ以外の学生がそれを見ることで学びを深めるワーク）」について、講師の実践事例を交えて紹介をします。

本講座が、受講生のみなさんのアクティブラーニング型学習の選択肢をひろげる一助となれば幸いです。

■主な受講対象

アクティブラーニング型授業の技法を、担当の授業で導入しようと考えている教員の方。また、アクティブラーニング型授業が具体的にどのようなものなのか、知りたい方。

■本プログラムの到達目標

1. アクティブラーニングとはどのようなものか、また、協同学習とはどのようなものか、説明することができる。
2. 教え合いの技法を3つ以上挙げて、その手順を説明することができる。
3. 自らの授業に教え合いの技法を取り入れることができる。

■日時・場所

日時：令和元年8月28日（水）13：00～15：00

場所：愛媛大学城北キャンパス